

(別紙5)

整理番号 2022P-150
補助事業名 2022年度 障がいのある青少年の健全育成のための施設（私立特別支援学校）の建築 補助事業
補助事業者名 学校法人旭出学園

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

知的障がい抱えた特別支援学校の多くの高校生は、3年間で卒業し社会に出ていきます。高等部3年という期間で、自分は何がしたいのか、出来るのかを考え、働くことの意味を理解することは容易ではありません。旭出学園では、高等部3年間の後、更に専攻科3年間を設け、自立と社会参加について時間をかけ学んでいます。近年、高等部専攻科への入学、進学希望者が増え、既存の校舎では教室・作業室が狭く、十分な指導が困難な状況でした。また、バリアフリーではなく、身体的な問題を抱える生徒の受け入れも不十分でした。これらを解消するため、新たな校舎、設備により、更なる教育の充実、チャレンジを図りたいと考えます。

(2) 実施内容

高等部専攻科新校舎建設。鉄骨造3階建 1棟、延床面積 856.20㎡、生徒の収容人数 30名。付帯設備 暖冷房設備 514.83㎡、エレベーター1基 750kg、教室4室、多目的室4室、調理室、カフェ、職員室、更衣室、シャワー室等



新校舎 西側道路からの外観
竣工：2023年3月31日



新校舎1階 調理室

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

学校法人旭出学園は本年創立 73年を迎えます。知的障がい児・者が豊かな生活を送ることが出来るよう私立の特別支援学校として独自のプログラムを持ち、草分け的な教育活動を実践してきました。高等部専攻科もそのプログラムの一つです。高等部専攻科では職場実習や多様な作業学習を通じて、働くこと、社会の一員であること、自立した生活を送ることを、時間をかけて学びます。小さくても、多くの成功体験を積むことによって、自分に自信を持ち、人の役に立つこと、社会の一員であることが自覚できれば、社会に出て多くの人々の理解と協力を得ることが出来、「共生社会」実現に向けての一步となります。専攻科新校舎はその目的のための環境・設備を有し、多くの生徒に学ぶ機会を与え、社会に育っていく場となります。

3 補助事業に係わる成果物

本事業に係わる印刷物等

「旭出だより」(114号、2022年7月発行)

(個人名が記載されていますので全ページは公開していません)

「新校舎落成記念ニュース」(2023年5月発行)

(保護者、卒業生への配布資料です)

「専攻科新校舎お披露目会」(2023年5月12日HP掲載)

[専攻科新校舎お披露目会 | 旭出学園\(特別支援学校\) \(asahide.ac.jp\)](http://asahide.ac.jp)

「新校舎「さくら館」落成式」(2023年5月29日HP掲載)

[新校舎「さくら館」落成式 | 旭出学園\(特別支援学校\) \(asahide.ac.jp\)](http://asahide.ac.jp)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 学校法人旭出学園 (ガッコウホウジンアサヒデガクエン)

住 所： 〒178-0063

東京都練馬区東大泉7-12-16

代 表 者： 理事長 上野 一彦 (リジチョウ ウエノ カズヒコ)

担 当 部 署： 事務部 (ジムブ)

担 当 者 名： 事務長 森田喜信 (ジムチョウ モリタ ヨシノブ)

電 話 番 号： 03-3922-4134

F A X： 03-3923-4009

E - m a i l： miki-1950@asahide.ac.jp

U R L： <http://www.asahide.ac.jp/>